

設計施工に関して

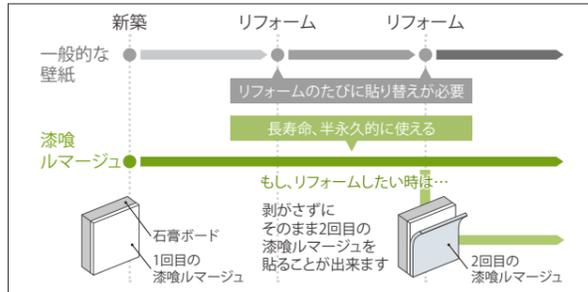
養生シートについて

□製品には施工中の割れを防ぐため、養生シートが付いた状態になっています。施工翌日以降、必ず剥がし取って下さい。



将来、エコリフォームを実現

□将来リフォームをする場合でも、漆喰ルマージュを剥がさずにそのまま丈夫な下地となりますので、エコリフォームが可能です。



納まりについて

□壁と天井



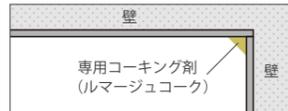
□壁と天井(目透かし納まり)



□出隅コーナーの折り返し幅



□入隅コーナー



※折り返し幅が12mmより小さい場合、施工が困難になります。
※12mm以下の目透かし納まりは折り返しが難しいため、施工前に溝部分を塗装して下さい。
※入り隅部の施工には、チューブ入りの専用コーキング剤「ルマージュコーク」が必要です。指定色のルマージュコークをご使用下さい。使用量の目安は製品100mあたり1本です。

技術資料

■製品寸法

幅:920mm(有効幅)
厚み:約0.3mm(養生シートは除く)
販売梱包単位:2.5m、12.5m、6m

■抗菌性

抗菌性試験(JIS Z 2801)

黄色ぶどう球菌	MRSA
抗菌活性値 2.0 以上	

■防かび性

JIS Z 2911(カビ抵抗性試験)

酸化エチレンガスで殺菌後、4週間培養

□肉眼及び顕微鏡下でカビの発育は認められない

■国土交通省 ホルムアルデヒド発散等級認定

MFN-2373 F☆☆☆☆

■国土交通省 防火認定番号

不燃	炭酸カルシウム混抄紙張	NM-1916	法定不燃材料下地(金属板を除く)※1
不燃	炭酸カルシウム混抄紙張	NM-2176	法定不燃材料下地(アルミを除く金属板)※2
準不燃	炭酸カルシウム混抄紙張	QM-0535	法定準不燃材料下地
不燃	炭酸カルシウム混抄紙張	NM-2071	法定不燃材料下地(金属板を除く)(漆喰ルマージュ二層貼り)※1
準不燃	炭酸カルシウム混抄紙張	QM-0585	法定準不燃材料下地(漆喰ルマージュ二層貼り)

※1 平成12年建設省告示第1400号に示された不燃材料のうち、すでに化粧されたもの及び鉄鋼、アルミニウム、金属板を除く。
※2 平成12年建設省告示第1400号に示された鉄鋼及び金属板のうち、すでに化粧されたもの及びアルミニウムを除く。

硬くて丈夫、簡単お手入れ

□施工後、空気中の二酸化炭素と化学反応して徐々に硬化し、傷がつきにくい硬さになります。一般の壁紙にくらべ硬いので、日常の適切なお手入れにより永らくお使いいただけるロングライフ素材です。

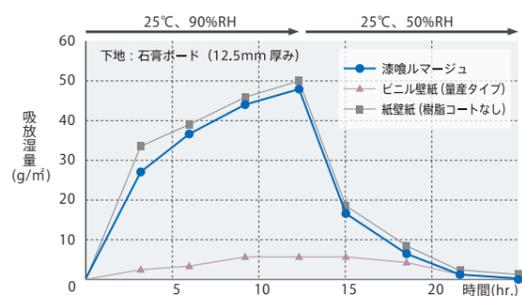
□漆喰の化学反応率



通気性による調湿機能

□漆喰ルマージュの表面は微多孔質な構造のため、通気性があります。したがって通気性のないビニル壁紙と異なり、石膏ボードなどの吸放湿性のある下地との組み合わせで吸放湿効果を発揮します。

□吸放湿性能試験(株トクヤマでの社内試験結果)



注意点

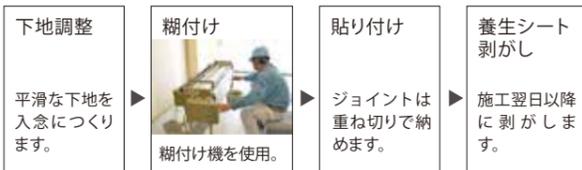
- 漆喰ルマージュはアルカリ性のため、水に濡れたままの状態が続くと白色に変色する現象(白化)が起こります。結露や水滴が付着する恐れのある箇所への使用は避けて下さい。
- 油は漆喰内部にしみ込みますので、調理場付近などへの使用は避けて下さい。
- 下地の凹凸に対してデリケートな面があります。凹凸やクラック等が発生しないよう、下地の精度には特に配慮下さい。
- 通気性に優れていますので、下地の木材の乾燥収縮によって不具合が出る場合があります。
- 自然素材のため、ジョイントの左右で色、艶、テクスチャーの差が発生する場合があります。
- 漆喰は、建物の構成部材に含まれる化学物質により、稀に変色する場合があります。特にフェノール樹脂を含む下地材への施工は避けて下さい。
- 施工後、家具などが漆喰ルマージュに接地したままの状態が続くと、接地面から変色する場合がありますのでご注意ください。

施工について

漆喰ルマージュは、左官材料である漆喰を独自技術でシート化した製品です。一般の壁紙とは異なる特性を持っていますので、以下の点に注意して施工して下さい。漆喰ルマージュの特性をご理解していただくために、施工前の試し貼りをお奨めいたします。

製品に、「施工要領」および「施工のポイント」が同梱されておりますので、よく読んでから施工して下さい。

施工手順



※十分な接着力を確保するため、糊は「ウォールボンド100」(矢沢化学工業)または「ハイワーク」(ヤヨイ化学工業)をご使用下さい。

下地調整

- 下地の凹凸を拾い易い材料です。平滑な下地になるようパテ掛け、パテ擦りを入念に行ってください。
- コンクリート、モルタル、合板、金属板等の下地の場合、アク止めのため、アクリル樹脂系のシーラー原液で処理して下さい。
- ダイライト下地は、変色するため施工できません。
- 石膏ボードと合板などの異種材料のジョイントや、建具・開口部枠に沿ったボードジョイントは、動きやすいためグラスファイバーテープを入れ、パテ処理はできるだけ平滑にしてください。

糊付け

- 糊は、既調合タイプの「ウォールボンド100」(矢沢化学工業)または「ハイワーク」(ヤヨイ化学工業)をご使用下さい。
- 塗布量は上記指定糊の標準範囲内として下さい。まず、「中程度」からはじめて下さい。塗布量が少なく接着が不十分だと、浮きの原因になります。
- 無塗装の木材(浸透性塗料を塗布した場合も含む)に漆喰ルマージュの糊が付着すると、木材が変色する場合があります。糊が付く恐れのある部分は、マスキングテープを貼る、もしくは漆喰ルマージュ端部の糊面にカットテープを貼る方法で養生して下さい。(漆喰のアルカリ成分が糊に溶出して木材を変色させるため起こる現象です)
- マスキングテープを使用する場合、漆喰ルマージュの変色の原因になりますので、下記のものをご推奨します。
No.2311(ニチバン)、SB246S・SB246・GS-21・SR-100(カモイ)、No.725・PT-6(日東)

施工可能時間と折り畳み方

- 糊付け後、一般的な壁は30分以内に使いきって下さい。時間の経過と共にシワが付きやすくなります。
- 天井と吹き抜けに施工する際は、糊付け後、直ちに施工して下さい。
- うませ伸びはほとんどないため、糊付け後、直ちに施工可能です。
- たたみ巾は50cm以上とし、均等に折り畳んで下さい。施工中も強く折り曲げないようにご注意ください。
- 腰が強いので、糊付け後、立てて取り置きすることもできます。

メンテナンス



※メラミンスポンジや砂消しゴムで強くこすると風合いが変わります。※汚れの種類によっては拭き取ってもシミなどが残る場合があります。※漆喰ルマージュは、本物の漆喰です。美しい状態を保つためには日常的なメンテナンスが重要です。

貼り付け

- 一般的な壁紙よりも腰が強いので、浮きやフクレの原因となりますので、貼り付け時はスモウサーを使ってしっかりと圧着させて下さい。
- 仕上がり幅は920mm以下で、両側20mmは使用しないで下さい。
- ジョイントは重ね切りとし、定規を使って下さい。
- 下地を切らないように、同梱の下敷きテープをご使用下さい。
- 養生シートに糊が付いた場合は、きれいな水で拭き取って下さい。入り隅や天井に付いた場合も水で拭き取って下さい。糊が残ると黄変する場合があります。

入り隅の施工

- 入り隅は、必ず入り隅ジョイントとし、薄ペラで切り取った後、養生シートを剥がし、専用のルマージュコークを入れる方法を標準として下さい。
- 入り隅の上部や下部は無理に折り曲げず、入り隅に沿ってカッターで切り目を入れてから曲げて下さい。

出隅の施工

- 出隅は、乾いたタオルで強く擦って摩擦熱で曲げて下さい。強く擦ると養生シートが毛羽立ちますが、後で取り去るため仕上がりに影響ありません。
- 貼り付け前に、コーナーの両側約5cmの部分にシーラーを塗っておくと、浮きや影れを抑えることができます。

天井と吹き抜けの施工

- 漆喰ルマージュは、折れジワが付き易いため天井への施工は2人作業とし、1人は天井の片側から貼り付け、もう1人は補助役として下さい。(1人の場合は補助具をお使い下さい)
- 吹き抜けも2人作業とし、下から上へ引き上げてから貼り付けて下さい。
- 天井と吹き抜けは、糊付け後、直ちに施工して下さい。
- 無理につかんだり、2階の足場から落とすと漆喰が壊れて剥がれ落ちることがあります。

養生シートの剥がし

- 漆喰層が剥離する原因となりますので、養生シートは貼り付けてから翌日以降に剥がして下さい。
- 養生シートは必ず剥がして下さい。養生シートを剥がした仕様で、F☆☆☆☆、防火材料として認定されています。

浮きのチェックと糊の注入

- 養生シートを剥がす前に浮きをチェックして下さい。
- 浮きがあった場合、浮き部分に糊を注入し、ローラーで押さえて下さい。
- ジョイントの仕上げ
- 養生シートの上からジョイントに隙間が見える場合は、剥がす直前にルマージュコークを小型のパテラ等で擦り込み、直ちに剥がして下さい。

入り隅の仕上げ方法

- ルマージュコークを入れる方法が標準です。入り隅のコークは養生シートを剥がした後で周囲につけないように行って下さい。
- 濡れスポンジなどでの拭き取りはしないで下さい。
- コークは、一発仕上げとして下さい。

養生シートの剥がした後の傷などの補修方法

- 養生シートを剥がしたら水を付けないようにご注意ください。水がついたままになると白く変色する原因になります。
- 万が一、折れジワがあった場合は、無水エチルアルコールを付け、養生シートをあてがって硬質のジュラコンローラーでローラー掛けて下さい。
- 曇みジワ・折れジワ箇所のツヤが落ちている場合は、乾いた布で擦って下さい。
- 小さな傷の補修は、同色の補修パテを傷の所にだけ塗って下さい。塗り広げると、風合いが変わります。
- 大きな傷が発生した場合には、入り隅から入り隅まで重ね貼りして下さい。

本資料に含まれるデータは保証値ではありません。また、本資料に含まれる数値は、測定値の一例です。本サンプルブックに掲載されている内容は予告なく変更や改訂を行なう場合がありますので、ご了承下さい。